

事務事業	15052	ブックスタート事業	担当課 課長	社会教育課 前田 憲一郎	担当係 担当者	町民図書館 安武 里美
計後 画期 体計 系画	施策	07 子どもの権利を守り、安全で健やかに成長できる まちをつくる	予 算 科 目	会計	1	一般会計
	取り組み方針	250 子どもの健全育成を推進する		款	10	教育費
				項	5	社会教育費
				目	6	町民図書館費
				基本事業		
	法令根拠条例等		個別計画			
実施期間	□28年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 H14 年度より開始		□期間限定(複数年)		年度～	年度

【事業の目的・内容】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください)	<input type="checkbox"/> 2次評価会議に提出します (左にチェックを入れる)	
健康課が実施している『10ヶ月赤ちゃん相談日』に参加される親子へ、住民ボランティアや町民図書館の協力による絵本の読み聞かせを行い、絵本1冊と子育てに関する情報チラシ等を配布する。 (平成22年度は事業名を「ブックスタート」から「はじめてのえほん」に変え、本を配布するという形でなく、図書館と連携して検診待ち時間に図書カードの登録をしてもらい、本を貸し出すという方向で行った。平成23年度からは再び「ブックスタート」という形で実施。)		
【業務内容(町職員の仕事内容)】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください)	主な 事業 費 の 内 訳	
<事務>・配布絵本数の予算計上、注文、契約、支払、絵本数の在庫管理、配布物準備		消耗品費 292 千円
<実施日当日>・会場準備、受付、事業説明、絵本配布、図書カード登録推進、検診待ち時間に行うおはなし会についてボランティア団体との調整		クリーニング料 6 千円
		千円
	千円	
	千円	

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 28年度に行った主な活動(※箇条書きで記入) 事務 ・配布絵本数の予算計上、注文、契約、支払、絵本数の在庫管理、配布物準備 実施日当日 ・会場準備、受付、事業説明、絵本配布、図書カード登録推進 ・検診待ち時間におはなし会実施(ボランティア団体による)	⇒	④ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	指標数値				
			名称	単位	27年度	28年度	29年度
		ア	本を受け取った人数	人	490	431	500 (見込)
		イ	図書カードの登録者数(0歳児)	人	未把握	110	100 (見込)
		ウ			(見込)		
② 対象(誰、何を対象にしているのか) 10ヶ月の子どもとその親	⇒	⑤ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	指標数値				
			名称	単位	27年度	28年度	29年度
		ア	10ヶ月赤ちゃん相談対象者数	人	535	533	550 (見込)
		イ					(見込)
		ウ			(見込)		
③ 意図(この事業で、対象をどのような状態にしたいのか) 絵本を仲介にし、親子のふれあいを深める。	⇒	⑥ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	指標数値				
			名称	単位	27年度	28年度	29年度
		ア	本を受け取った10ヶ月検診対象者の割合	%	目標 100.0 実績 91.8	100.0 80.8	100.0
		イ	図書カード登録した10ヶ月検診対象者の割合	%	目標 未 実績 未把握	未 25.5	20
		ウ					
		エ					
		オ					

(2) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(千円)	27年度 (決算値)	28年度 (当初予算)	28年度 (決算値)	29年度 (当初予算)	30年度 (計画)	31年度 (計画)
	国・県支出金、地方債等						
	受益者負担等						
	一般財源	202	298	298	327		
	合計(A)	202	298	298	327	0	0
	(内臨時・嘱託職員人件費)						
	正職員人件費[按分](B)	252	817	1,549	1,583		
トータルコスト(A)+(B)	454	1,115	1,847	1,910	0	0	

事務事業評価表(事業実施年度:平成28年度)

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を開始したきっかけは何ですか?いつ頃どんな経緯で開始されましたか?	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化していますか?	③ 事務事業に対して関係者からどんな意見や要望が寄せられていますか?(誰からの意見か明記)
赤ちゃんのこぼれと心を育むためには、抱っこぬくもりの中でやさしく語りかける時間が大切だといわれており、そのかけがえのないひとときに「絵本」を通してこぼれと心を通わすことを応援するため、健康課・社会教育課(町民図書館)・子育て支援課の3課で協議を行い、平成14年4月より開始。	本の配布というばらまき形の支援が疑問視されていたこと、その後の図書館の利用(その後の読み聞かせ)等につながっていないこともあり、平成22年度は絵本は貸出という形で行った。しかし、「存続すべきだ」という町長の意向により、平成23年度は再び配布という形で実施している。平成28年度からは主管課が子育て支援課から社会教育課(町民図書館)へ変更。	本がもらえるのは嬉しい。ぜひ子どもに読んであげたい。(対象者)

(4) 昨年度の評価結果の取り組み状況調べ

昨年度の事務事業評価結果		28年度の取り組み状況と今後の方針	
事業の方向性	平成28年度の取り組み概要及び期待される効果	実施状況	実施できなかった理由と今後の方針
<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 目的の見直し <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 事務事業終了 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続		<input type="checkbox"/> 記述どおり実施できた (コメント必要ありません) <input type="checkbox"/> 一部実施できた(理由→) <input type="checkbox"/> 実施できなかった(理由→)	

2 評価(SEE)及び全体総括の部 * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

(1) 評価

	評価の理由
目的妥当性評価 ① 上位施策への貢献度は大きいですか? ※総合計画を参照してください <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度大きい(理由→) <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう(理由→) <input type="checkbox"/> 貢献度小さい(理由→)	0歳の子どもをもつ親が、絵本を仲介として親子のふれあいを深めることは、心身が健やかに育つことにつながる。
② 税金を使って達成する目的(対象と意図)ですか? (事業の目的は、総合計画の町の役割や基本方針に合っていますか?) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である(理由→) <input type="checkbox"/> 妥当性が低い(理由→)	小さい頃からの本の読み聞かせは子どもたちが心豊かに育つためには必要である。
有効性評価 ③ 成果がこれ以上向上する余地(可能性)はありますか? <input type="checkbox"/> 成果向上余地がある(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地がない(理由→)	10ヶ月健診日に来た人全員に絵本を配布しているほか、後日健康課を訪ねてきた人には図書館にて絵本配布している。しかし来られていない方には配布できず、これ以上の成果向上余地はない。
④ 廃止・休止した場合、成果への影響はありますか? <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり(理由→) <input type="checkbox"/> 影響なし(理由→)	成果が見えないため、休止して影響があるかどうかはわからない。
効率性評価 ⑤ 現状の成果を落とさずにコスト(予算+事務従事時間)を削減する新たな方法はありますか?(広域連携や民間委託等の導入など) <input type="checkbox"/> ある(具体的な内容→) <input checked="" type="checkbox"/> ない(理由→)	現在も、必要以上のコストはかかっておらず、推奨絵本もブックスタートから低価で購入しており、削減出来るようなコスト自体がかかってない。

(2) 28年度を振り返って(全体総括・反省点)

<p>・主管課変更に伴い、関係3課のこの事業に対する役割分担を明確にし、変わらぬ協力体制を維持することが必須であった。今後も図書館のみではなく3課ともに「主管課ではないが自課も担当である」という認識を持っていくべき。そのうえで協議のうえ事務の効率化を図る必要あり。</p> <p>・初めての絵本ということで、10か月健診で絵本を配布しているが、絵本に興味深く見る赤ちゃんや楽しそうに子どもと話しながら絵本を選ぶ親の姿をみると、改めて絵本は親子の心をつなぐふれあいの時間のツールとして有効なものと思われる。</p> <p>・検診待ち時間にボランティアにより実施されるおはなし会によって、待ち時間の長さがあまり気にしないようになってきている。また内容も赤ちゃん絵本等を読むだけでなく、様々な親子遊びの紹介をしているため、参加者はそれらも楽しげに行っている。</p>
--

3 今後の方向性(29年度以降の計画と30年度予算への反映)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可)	(2) 平成29年度以降に取り組む内容と期待される効果
<input type="checkbox"/> 廃止・休止(理由→) <input type="checkbox"/> 目的の見直し(内容→) <input type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)内容→ <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)内容→ <input type="checkbox"/> 事業終了 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続	